

今、求められているニッセンケンの検反事業【中国・南通事業所】

南通地域で 25 年の事業実績を誇る ～ ノウハウと技術の蓄積で顧客満足を獲得
アセアン輸出の生地ロスゼロ実現を目指し!

繊維製品の試験・検品・検反の 3 検査事業を展開するニッセンケン南通事業所には、メーカー、商社、工場等から品質課題に関する様々な相談が寄せられますが、以前よりも増えていることの 1 つが【検反】についての問い合わせです。同地区の日系検査機関で検反事業を行うのがニッセンケンだけという事情もあり、中国を起点に日本向け製品をアセアン・南西アジア地区の工場で生産するケースでの「輸出前検反」に注目が集まっています。

今回改めて、南通事業所の検反事業についてご紹介します。



ニッセンケン検反事業 **3 つの強み**～裁断してからでは遅すぎる!? 裁断前・輸出前に検反で安心を

不良個所を事前に可視化し、生産効率を向上、検品不良率を減少させます。

25年にわたり培った専門職員による検反技術が、貴社のサプライチェーンを守ります。

1. 事前に不良個所を可視化して生産効率 UP

裁断前に欠陥位置を把握できるため、縫製現場でのラインストップやロスを削減し、生産効率が向上します。また、縫製後の生地不良による不良品を防ぎます。

2. アセアン輸出前の原反チェックで国際トラブル回避

中国からの出荷前に検反を行うことで国境を跨いだ後の不良発覚による「納期遅延」や「無駄な輸送コスト」を抑制することができます。

3. 中国で 25 年の圧倒的実績と 専門職員による確かな検反技術

中長年培ったノウハウと専門職員 3 名による熟練の技術力で高精度な検反を実現。

中国とアジア全域を結ぶサプライチェーンの安定化のために

繊維製品の生産工程における、検反の主な目的は「最終製品での不良品発生防止と品質安定」と「製造コスト・工程ロス・手戻りの削減」であり、生産工程で発生する様々な無駄を省きながら、高いレベルの品質管理体制を維持することにあります。そのような中、生産工程に入ってから生地不良が発覚すると裁断時の時間ロス、検品時の不良品判定、入荷後のクレームにつながる恐れがあります。また、それらのトラブルで追加費用が発生することもあるため、そういったトラブル回避と品質確保という点で、ニッセンケンの検反事業が活躍しています。

また、高価格帯の商品や、生産枚数が多い商品についても、事前にリスクを回避するための検反のご相談をよくいただいています。

小さなキズ 1 つで、消費者からの大きな信頼を失うこともあります。

試験・検品・検反を一気通貫で行うニッセンケンにお気軽にご相談ください。

ニッセンケン中国 検反事業の概要

実施事業所	事業所名	一般財団法人ニッセンケン品質評価センター 南通事業所（南通天山紡織品検整有限公司）
	設 立	2001 年 11 月
	住 所	〒226-371 江蘇省南通市通州区興仁鎮工業園區
	電話番号	+86-513-8661-1716
	E-mail	nantu-kentan@nissenken.or.jp
業 務 内 容		・月産検反数量：13 万m ・流し検反による欠点表示作業 ・開反→検反→梱包（ビニール包装）
業 務 形 態		・検反機（3台）による、検反機 1 台当たり1人体制 ・検反最大可能巾：180cm
基本受注納期		～1,000m：2日間 1,000m ～ 3,000m：3日間 3,000m ～：4日間～（要相談）
担 当 者 ※お問い合わせ等は、◎の検反担当者まで お願いいたします		所長：畑下 和之 電話番号：+86-152-0629-6567（日本語のみ） E-mail： k-hatashita@nissenken.or.jp ◎検反 責任者：劉 雲（Liu Yun） 電話番号：+86-138-6296-3908（中国語のみ） E-mail： nantu-kentan@nissenken.or.jp ◎検反 日本人窓口：高瀬 真 電話番号：+86-187-6170-3311（日本語のみ） E-mail： m-takase@nissenken.or.jp